

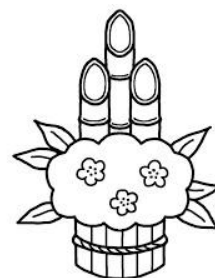
三小だより 1月号

3学期のスタートにあたって

校長 大鳥 清裕

新年あけましておめでとうございます。今年が皆様にとって幸せで素晴らしい一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。また、本校教育活動に対し、今年も皆様の温かいご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。中国の古い書物からきた言葉だそうで、もともとは「一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきである。」という意味です。現在ではもう少し広げて、「物事を始めるにあたっては、最初にしっかりと計画を立てるのが大切だ。」という意味で使われているようです。新年を迎え、さらに新学期を迎えた今こそ、この言葉通り、これからの生活について目標を決めて、その達成に向けた計画を立ててほしいと思います。私は2学期の終業式で、「節目」や「区切り」の大切さについて話しました。「節目」や「区切り」がないと、私たちの生活はだらだらと締まりのないものになってしまうでしょう。やはり節目、節目で区切りをつけて、そこまでの生活や取り組みを振り返り、そのうえで次の段階に向けてやるべきことを決めていくということが大切だと思います。1年の中でも大きな節目であるこの時期、もしまだ新しい目標が決まっていなかったら、今述べた通り、まずはこれから自分の頑張りたいことや努力したいことを考え目標を決めて、新年・新学期のスタートを切ってほしいと思います。また、保護者の皆様は、一度今年目標について、お子様とお話しされることをお勧めします。子どもたちが頑張ろうとしていることをご理解いただくことによって、様々な形の応援やサポートも可能になってきます。子どもだけではくじけそうになるところも、親御さんの応援があれば乗り切れることもあるかと思います。また、その際



に親御さんご自身の目標を話されることも良いことかと思えます。親子で互いの目標を理解しあい、励ましあうことによって、共に新たなステップアップを目指すことができます。どうか年の初めのこの時期に、親子で話す機会を持っていたいただければと思います。

さあ、今日からいよいよ3学期のスタートです。昔から、「1月は行ってしまう。」「2月は逃げていく。」「3月は去っていく。」と言われます。それだけ3学期が短く、時のたつのが早いということを表しています。数えてみますと、実際に学校に来て友達や先生と過ごすのは50日程度です。その50日ほどの間に、現在の学年で学んでおくべきことをしっかり身につけてしまわなければなりません。6年生は小学校生活を締めくり新たな中学校生活に向けて、その他の学年はそれぞれ進級に向けて、悔いの残らないよう一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。